



そなえよつねに
ボーイスカウト

育てよう！ 生きる力と生きる力

ボーイスカウトのここが知りたい！ 保護者のみなさまへ

Q & A



人と地球によりよい未来を

Q ボーイスカウトってなに？



A 人と地球によりよい未来をつくる 世界最大級の青少年教育運動です。

ボーイスカウトは、世界中で展開されている青少年のための教育運動です。子どもたちは野外活動を中心とした体験活動を通じて、自分の力で考え、行動し、成長していきます。

私たちの活動は子どもたちの好奇心と成長、それを支えるボランティアの方々の熱意によって100年以上のバトンを繋いできました。私たちは、人や社会のため、地球のために行動できる人材を育て、社会に送り出すことを目指しています。

世界中の子どもたちが、ボーイスカウトで活動しています



アジア諸国にはボーイスカウト活動が学校教育の一部に取り入れられていたり、学校と連携して活動を行っている国もあります。



インドネシア



タイ

など

※ボーイスカウト活動の取り入れ方は、国や地域・学校によって異なります。

Q

ボーイスカウトで どんな活動をするの？

A

ボーイスカウトでは、小学1年生から26歳までの子ども・若者を、発達段階に応じて5つの部門に分けています。それぞれの年代に合わせた活動を通じて、子どもたちは少しずつ「自分らしさ」と「人との関わり方」を身につけていきます。

👑
社会で役立つ人材に

ベンチャースカウト

中学3年生～18歳

自分の意思で活動を選び、企画し、実行するまさに「自立のステージ」。登山や長期キャンプ、ボランティア活動など、より高度な体験を通し、責任感と協働力、社会との繋がりを深めていきます。



ローバースカウト

18～26歳

地域や国際社会への貢献を行い、先輩たちの支援や指導を通して自身の価値観を磨きます。

ボーイスカウト

小学校6年生～中学校3年生

本格的な野外活動への参入、キャンプの計画から設営、炊事、片付けまで、すべてを自分たちで行います。地図やコンパスを使うハイキングやロープワーク、救急法など、“生きる力”を実践的に身につけます。リーダーシップや思いやりを育てていきます。



カブスカウト

小学校3年生～5年生

「自分でできること」が増えてくる時期。組（チーム）で協力しながら、ハイキングやキャンプ、工作などに挑戦。遊びの中で「工夫する力」、「助け合う力」が育ち、自分の役割を果たす経験が増えていきます。

ビーバースカウト

小学校1年生～2年生

仲間と楽しく遊びながら「集団」に慣れる世代。公園や森での自然体験やゲーム、クラフトなどを通してルールや順番を守る習慣づくりを行い、感謝や思いやりの心を育んでいきます。



Q

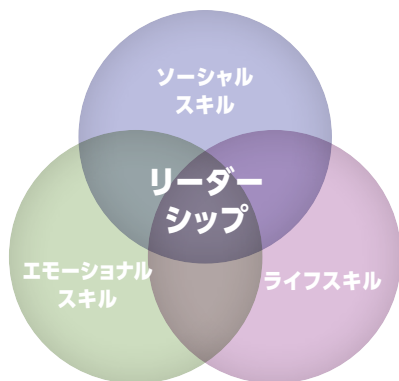
ボーイスカウトで どんな力が育つの？

A

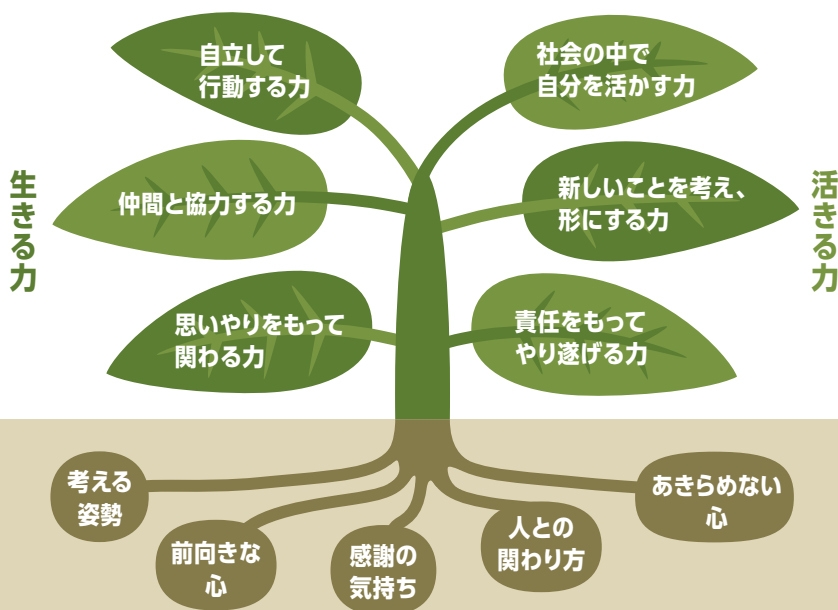
ボーイスカウトで育つのは、
生きる力と生きる力。

自然の中での体験を通して、子どもたちは自分で考え、行動する力を育んでいきます。

学校や家庭では出会えない特別な体験が、“できた！”という自信を生み、子どもたちは自分の力で成長していきます。ボーイスカウトは、子どもが自ら育ち、未来へと生きる力を伸ばしていくもうひとつの学びの場です。



目に見えやすい成長



私たちは、目に見える成果だけでなく、
人生の土台となる「根っこ」を
育てることを大切にしています

目に見えにくい成長

Q

ボーイスカウトでの体験は教育的に効果があるの？

A

ボーイスカウトの体験活動には、
子どもの“非認知能力”を育む効果があります。

自然の中での挑戦や仲間との協力、地域や社会の中での実践など、
多様な体験を通して「自分で考え、行動する力」が育まれます。

学びある非日常の体験を通して、子どもたちは成長していきます



教育支援



地域福祉



環境保全



災害支援



国際交流

ボーイスカウトの体験活動の特徴

「ねらい」や「目的」がある活動

第三者の大人が子どもを支援

仲間と協力し、自分の役割を考える

多様な体験
学びある

活動の楽しさ

非認知能力の向上

自分で考え
判断する力

あきらめずに
挑戦する力

仲間と協力し
思いやる力

専門家による体験活動の教育的効果

親元を離れ、仲間と協力しながら様々な活動に挑戦し、失敗や試行錯誤を重ねながら困難を乗り越え、最後までやり遂げる経験を積む。スカウト活動で得られるこうした体験は、VUCA（将来の予測困難）の時代を生き抜く力をはぐくみ、子どもたちの健やかな成長と自立を支える確かな土台となります。

國學院大學 人間開発学部 子ども支援学科 教授 青木 康太郎 氏



ボーイスカウト保護者向け Q&A

～お子さんの成長を見守るために～

Q1. どんな活動をするのですか？ 初めてでも大丈夫ですか？

- A.** 年齢に合わせて、自然の中での体験や仲間と協力して行う活動をしています。キャンプ、ハイキングなどの野外での活動が多く、そのほかにも地域の清掃やボランティア、募金活動、工作、料理など、多様な活動があります。
- 初めてのことも、年長スカウトが教えてくれます。子ども同士で教えあうことで、お互いに成長していきます。もちろんリーダー（成人指導者）も必ず見守っています。初めてでも安心して参加してください。

Q2. 費用はどのくらいかかりますか？

- A.** 団や地域によって少し異なります。
- ボランティアの指導者によって運営していますので、他の活動や習い事などと比べて少ない費用のご負担で活動しています。年間登録費と月々の活動費が必要となります。そのほか、大きな大会、キャンプなどには参加費や交通費が必要となる場合があります。
- 制服や帽子などは最初に購入します。部門が変わると制服が変わりますが、ちょうどお子様の成長に合わせて、買い替え時期となる方が多いです。
- 詳しい金額は所属する団でご案内します。



Q3. 保護者の手伝いは必要ですか？

- A.** 基本的な活動はリーダー（指導者）が計画・運営します。
- ただし、行事の送迎や、キャンプのお手伝いなど、協力をお願いすることもあります。
- ご家庭の事情に合わせて無理のない範囲で参加できます。
- 同じ年齢の子どもをもつ保護者同士の輪が広がる良い機会にもなっています。

Q4. 安全面は大丈夫ですか？

- A.** 指導者は全員、日本連盟の研修を受けたボランティアです。
- 活動中は安全管理を第一に考え、万が一に備えての保険加入とボーイスカウト独自の共済制度で事故の補償をしております。子どもたちが安心して参加できるよう、常に複数の大人が見守ります。

Q5. 活動はどのくらいの頻度ですか？

A. 通常は月に2～3回ほど、
週末を中心に集会を行っています。

長期休みにはキャンプなど特別活動もありますが、
予定は事前にお知らせします。
学校や他の習い事との両立も十分可能です。



Q6. 友達ができますか？

A. はい、きっとたくさんできます！

同年代の仲間と活動を共にすることで、学校とは違う「もうひとつの居場所」ができます。子ども同士で自ら班の運営をするので、それぞれが役割を持ち、チームの一員である体験をします。そして、それぞれの特徴を認め合うことで仲間ができ、一緒に成長していくことでかけがえのない関係となります。

Q7. 体験参加はできますか？

A. もちろん大歓迎です！

多くの団で「体験集会」や「見学会」を行っています。
実際の活動を見てから、じっくりご検討いただけます。

ボーイスカウト日本連盟 HP
「よくある質問」



<https://www.scout.or.jp/faq>



ボーイスカウト日本連盟の公式 HP では、この他多くの質問にもお答えしています！

ボーイスカウトは、人と地球によりよい未来をつくる 世界最大級の青少年教育運動です。

保護者の声



ボーイスカウトにお子様を
入れている保護者の方に
インタビューをしました。

引っ込み思案な息子。なかなかうまく行かないときも指導者の方は「無理しなくていいよ」と息子の気持ちを気遣いながらも、本人が「やってみよう」と一歩踏み出せる環境づくりをしてください息子もだんだんと集会が楽しくなってきたようです。

ビーバースカウト（小学1～2年生）の保護者

キャンプに行った後などの、土まみれの洗濯は大変なこともあります。活動に参加して帰ってきたときの表情に、疲れのなかでも充実感が見られると「良かったな」と思います。

ボーイスカウト（小学6年生～中学3年生）の保護者

暑さ寒さのなかでのキャンプのおかげで、非常に忍耐強くなったと思います。困難なことや苦手なことにも前向きに、心身ともに強くなれて感謝しています。また、年下の兄弟がいないので、下の子の面倒を見る機会も貴重な経験になります。

ベンチャースカウト（中学3年生～18歳）の保護者



まずは体験してみませんか

日本連盟ホームページから、
お近くの活動拠点を探していただけます！
<https://www.scout.or.jp/team>



公益財団法人
ボーイスカウト日本連盟
SCOUT ASSOCIATION OF JAPAN

〒167-0022 東京都杉並区下井草4丁目4番3号
電話 03 (6913) 6262 代

www.scout.or.jp

お問い合わせ先